

足立区立郷土博物館 企画展「博物館のいっぴん」 展示資料リスト

展覧会開催期間：令和2年9月20日（日）～11月8日（日）

No.	資料名	解説	ここが見どころ（聞きどころ）
その1 思わず見てしまう、めずらしいいっぴん			
1	心臓（張子）	ダルマと同じ、張子の作り方が使われています。	張子なのにこの細密さ。心臓の細かい構造を再現！
2	安倍式洗濯器	洗濯板の役割を効果的に使うために設計されたものです。	洗濯板の役割を凝縮した緻密な設計！
3	下駄の看板	桁久（けたきゅう）という下駄屋の看板として店先に飾られていた桐下駄です。	大きさは通常の下駄の約50倍！
4	木製栓抜き	槓杆（こうかん・てこの意味）の先につく、針のようなものをコルクにさしたあと、てこの原理を使って、引き抜きます。	てこの原理を応用した当時の最高傑作！？ ちょっとした発明である実用新案登録済みです。
5	千住大橋の風景の欄間	橋脚、筏をあやつる船頭、船を木・貝・鉄などをはめ込む象嵌（ぞうがん）の技術を使って表しています。	木目に象嵌（ぞうがん）の技術で描かれた巧妙な絵画となっています。
6	人体模型（素像）	紙で作られている人体模型です。	技術立国日本がうなずける精巧な技術！素像という彩色前のものを展示しているので、いっそう細かな作りがわかります。 戦後は、海外輸出もされていました。
7	和装マネキン	古紙を使った張子です。加工前部品として胴体と下半身を展示しています。	ボディは古紙、顔は石膏でかたどられています。 着物の着付け用に足袋をはいています。 かわいらしくもあり、なぜか怖い。
8	骨格標本	古紙でできています骨格標本です。	細かく部位の名前も書かれています！加工前部品の、脊柱と足の骨をごらんください。
9	鯉のぼり	江戸時代は黒い真鯉を一匹、明治時代から赤い緋鯉を飾るようになりました。	迫力ある大きな鯉のぼりは全て紙製！？
10	大凧	強度のある和紙をはりあわせて大きな一枚の紙にしたたものを使います。	大きな凧は骨をはずしてまるめて、小さな袋にしまえます。和紙はやわらかい！

No.	資料名	解説	ここが見どころ
その2 とっておき、「話せばわかる」いっぴん			
11	五榜の掲示 第一札 覚 (五倫道德遵守)	[教科書でも取り上げられている五榜の掲示。五つの高札のうちひとつです。 5つの禁令の内容は当時は当たり前ではなかったようです…
12	高札【大総督府参謀】	戊辰戦争で官軍の司令部が幕府軍の勢力制圧のために出した布告です。	達筆だけど文字が多くて、当時の武士は普通に読めたのでしょうか。
13	算額	和算を習得した和算家が、学問を修めたお礼やあるいは見た人に問題への挑戦をうながすために、社寺に奉納されたものです。	当時の和算家が編み出した超難問に挑戦！…は、しないほうがいくらい難しいです。
14	江戸御成先筋色分之図 (えどおなりさきいろわけのず)	徳川将軍家が、鷹狩のときに「御成」する地域を筋として、村ごとに色分けした地図です。	ここに挙げられている範囲が、大江戸の範囲と考えられます。
15	御用旗 伊東谷村人足拾人	幕府の公的な仕事「御用」のときにかかげる旗です。	しまっておく箱まであります。 「御用」はとても大切なものでした。
16	千住音頭・お祭り野郎	地域のお祭りで愛された歌です。	
17	足立新音頭・シチズンソング	足立新音頭と時計の会社シチズンの歌がA面・B面（両面）になっているものです。 両方とも、耳に残るすてきな曲です。	
18	足立区新生活数えうた	新生活運動とは、合理的で健康的な衣食住と家庭生活を国民に広めるために行われた全国的に行われた運動です。 運動を広めるために作られたうたです。 ちょっと悲しげな替え歌です。	展示室でこの歌を流しています。壁に貼ってある歌詞を見ながら歌ってみましょう！
19	チャップン音頭	区内でよまれた小林一茶の俳句にちなんだ足立区民まつりのキャラクター、カエルのチャップンがすすめる名所の音頭。	
20	新足立音頭	なんとなく、時代を感じる名所押しです。	
21	千住町 マンホール	マンホールのふたは、そのデザインから自治体などの事業主や設置年代を知ることができます。	どこにでもあるマンホールから地域の歴史を知ることができます！